

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	環境教育・環境学習の推進			総合計画コード	414
部名	市民環境部	主管課名	環境推進課	主管課部課コード	0300300
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	環境学習・環境教育を推進するため、市民などの環境意識が高揚し環境美化を推進するための取組が行われている。				
施策概要	環境推進総務事務 環境美化				
個別計画 関連計画	計画名称	第2次朝霞市環境基本計画	計画期間	H 24 年度	~ H 33 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<p>環境審議会を2回開催した。 あさか環境市民会議の運営支援を実施した。 環境施策実施年次報告書「朝霞の環境」及び「朝霞市環境基本計画 実施計画」を発行した。 市民等を交えた市内一斉清掃活動である「きれいなまちづくり運動」を、春と秋の2回実施した。 環境美化推進員を11人委嘱した。 環境美化推進員やあさか環境市民会議と連携し、「路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン」を実施した。 環境美化ポスターを募集し135人の応募を受け付けた。うち12人を入選者として表彰した。 環境美化活動等に貢献した4人を表彰した。 不法投棄監視パトロール等の不法投棄対策を実施した。</p>					
H28年度の 基本概念(コンセプト) の実施内容	安全・安心な まち	「路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン」の実施や路面シート等の啓発表示を実施した。				
	子育てが しやすいまち	環境美化ポスターの募集等を実施した。				
	つながりのある 元気なまち	自治会等を通じて市民の協力を得ながら「きれいなまちづくり運動」を実施した。				
	自然・環境に 恵まれたまち	不法投棄監視パトロール等の不法投棄対策を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		35,275	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	後期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① 環境美化ポスターの出展 者数 (説明) 例年募集している環境美化ポ スターの出展者数	人	120	120	125	130	130
		135	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p>○ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ○ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ○ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ○ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ● C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)</p> <p>(説明) 環境美化ポスターの応募者数は年度によるバラつきはあるものの毎年100人を超える応募があり、平成28年度も目標を上回る応募があった。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p>○ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ○ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ○ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ○ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ● C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない</p> <p>(説明) 市民の環境問題に対する意識は高く、その要求も多岐にわたる傾向にあるものの、市民の環境学習・環境教育を推進するための取組の面では、現状と大きく変わらないものと考えられる。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>(説明) 市民、事業者などの環境に関する理解を深められるよう、環境施策実施年次報告書「朝霞の環境」の発行やイベントの開催などにより情報提供に努め、「路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン」や「きれいなまちづくり運動」等を通じてモラル向上に関する取り組みを行っているが、効果が見えにくい。 そのため、取り組みの効果を的確に把握し、環境学習・環境教育の推進に反映させていくことが課題となる。</p>

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し</p> <p>(説明) 引き続き市民などへの情報提供を積極的に行い、市民団体等への活動支援を継続する。 また、市民等への意識啓発や関係機関との連携を図り、不法投棄監視パトロール等を継続し、環境美化の推進に取り組んでいく。</p>																																													
<p>行政と市民の役割分担</p>	<p>○ I 行政の関与(役割)を拡大 ● II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ○ III 市民の関与(役割)を拡大</p> <p>(説明) 環境審議会や環境美化推進員、市民等からの意見や相談などを踏まえ、引き続き現在のバランスを維持しながら取り組みを行っていく。</p>																																													
<p>施策を構成する事務事業の次年度の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事務事業名</th> <th colspan="2">総コスト(事業費+人件費)</th> <th rowspan="2">有効性 貢献度</th> <th rowspan="2">優先性 緊急性</th> <th rowspan="2">H30に向けた 投入資源の方向性</th> </tr> <tr> <th>H27決算</th> <th>H28決算見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 環境推進総務事務事業</td> <td>6,310</td> <td>14,323</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>2 環境美化事業</td> <td>27,764</td> <td>20,952</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計 (単位:千円)</td> <td>34,074</td> <td>35,275</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性	H27決算	H28決算見込	1 環境推進総務事務事業	6,310	14,323	4	4	現状のまま	2 環境美化事業	27,764	20,952	4	4	現状のまま	3						4						5						計 (単位:千円)	34,074	35,275	—	—	—	<p><input type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載</p>
事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性				H30に向けた 投入資源の方向性																																						
	H27決算	H28決算見込																																												
1 環境推進総務事務事業	6,310	14,323	4	4	現状のまま																																									
2 環境美化事業	27,764	20,952	4	4	現状のまま																																									
3																																														
4																																														
5																																														
計 (単位:千円)	34,074	35,275	—	—	—																																									
<p>審議会等の第三者機関の評価(意見)</p>	<p>【環境審議会】市民等への事業報告の内容について、わかりやすくする工夫が必要。 【外部評価委員会】地域の資源である黒目川が市民から愛されるには、川の整備というハード面だけではなく、市民によるゴミ拾いなどソフトの面での取組も必要である。例年、黒目川花まつりの開催前に清掃をする企画があるが、そのような機会を増やし、市民の地域への愛着、資源を大切にしたい。醸成につなげてほしい。(自然・環境に恵まれたまちに関する所見より抜粋)</p>																																													
<p>部長の意見</p>	<p>環境学習・環境教育を推進していくためには、市民などの環境意識が高揚するような取り組みの継続が不可欠である。 そのためには、市民等へのわかりやすい情報提供を積極的に行い、市民団体等への活動支援を継続するとともに、その内容について検討をしていく必要がある。</p>																																													